

1月8日、総合開発センターにおいて、町公民館主催の第38回藤里町新春書き初め大会が開催され、小学生から一般町民まで、26名が参加しました。

講師の菅原隆之介、村岡満尚先生の指導のもと、「ふじこま」「あゆの里」「雪の大地」など学年別に設けられた課題に真剣に取り組んでいました。

一語一句に集中して

新春書き初め大会

◎20年以上勤続

- ・鈴木 孝雄 (元第3分団)
- ・市川 忠雄 (元第1分団)
- ・細田 良 (元第2分団)
- ・山田 幸一 (元第5分団)
- ・佐々木 稔晃 (元第4分団)
- ・小山 久男 (元第2分団)
- ・石田 厚雄 (元第5分団)

◎10年以上勤続

- ・安保 博 (元第1分団)

【無火災表彰 (藤里町長)】

◎8年無火災

- ・第2分団 (平成13年4月11日)

◎7年無火災

- ・第4分団 (平成14年9月21日)

・佐々木英樹 (第1分団)
【7年勤続章 (秋田県消防協会能代市山本郡支部長)】

- ・大森 吉徳 (第5分団)
- ・佐々木保一 (第3分団)
- ・門田 真 (第1分団)

【退職団員感謝状 (藤里町長)】



上手にできたかな？

このツアーは、都市と農村の子どもたち双方の交流体験を見据え、自然や農作業、食などを実際に体験してもらい、



筆先に集中して！

都市と農村の交流

冬の藤里ちよつと体験

1月9日、10日の2日間、藤里町ツアーリズム協議会が主催した、白神山地の麓「冬の藤里ちよつと体験」モニターツアーが行われ、埼玉県川口市と、さいたま市から小学生7名、保護者3名、藤里小学校から児童11名が参加しました。



幻想的な空間でした

無病息災を祈願して

藤琴地区どんど焼き

1月15日、藤琴地区活動推進協議会が主催するどんど焼きが、総合開発センターグラウンドにおいて行われました。

グラウンド内に作られた雪灯ろうのろうそくの炎が幻想的な雰囲気漂わせる中、参加者らは、燃え盛る火柱で暖をとり、用意されていたお神酒や豚汁などをいただきながら、今年一年の無病息災や家内安全を祈っていました。

今後の受入体制づくりにつなげる目的で行われました。

ツアー初日は、一行を迫力満点の高山太鼓の演奏で迎え、その後、かまくら・雪灯籠作りや、きりたんぼ作り、高山太鼓などを体験し、ぶなっこ教室へ宿泊しました。2日目は、朝の雪かき、里山(横倉・水無の奥へ)体験、スキー場でそり・雪遊びなど、雪国の暮らしや地元児童との交流を堪能し、帰路につきました。

《雑学風味》「備長炭の由来」

備長炭の名前は、炭問屋「備中屋長左衛門」という人物名に由来しており、紀州田辺藩周辺で扱っていた木炭を、江戸日本橋青物町の問屋へ出荷したところ、うなぎ屋などで大好評を得て、自分の屋号から「備長炭」と名付けたそうです。

みんなのわだい